

品川区立上大崎つばさの家 地域連携推進会議 議事録

日時：令和8年2月9日(月) 14:00～16:00

場所：品川区立発達障害者支援施設ぷらーす

参加者：利用者代表1名、家族代表1名、地域の関係者1名、福祉に知見のある人1名

経営に知見のある人1名、区市町村担当者1名、施設職員2名

司会・記録：管理者

1. 開会挨拶

事業運営への協力と理解のお礼、会議の趣旨の説明、ご出席のお礼、積極的に意見を頂くことをお願いを行う。

会議の目的は、利用者と地域との関係づくり、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進、サービスの透明性と質の確保、利用者の権利擁護である。

会議の内容は、情報共有や意見交換、施設訪問で職員や利用者との関係づくりや事業所の環境や事業運営の確認である。

2. 出席者紹介

3. 議題

① 施設の理解や地域と連携について

(障害理解や苦情等の共有、地域行事のご案内、障害についてのレクチャー)

利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう支援を行っている。

地域の中で家庭的な雰囲気のもと共同生活を行う住まいの場とし、互いに支え合って暮らすことができるよう支援を行っている。

品川区立のグループホーム施設として、地域の福祉活動等を通して地域に開かれた施設の運営を行っている。

福祉士等の実習を受け入れることで、教育の現場と協働し次世代の福祉士等を育成するとともに、事業所としても更なるサービスの質の向上に取り組んでいる。

実際に実習生を受け入れ、次世代の人材育成に寄与することで、事業所としてもより多角的な支援の技術の向上に取り組んでいる。

② 利用者の権利擁護

(事故や虐待やヒヤリハットの共有、利用者の声の情報共有、支援者の様子)

委員会活動を通して虐待防止やリスクマネジメントに研鑽し、地域に開かれた施設の運営を行っている。また、地域活動へ参加や次世代の人材育成やDXの推進に取り組んでいる。

利用者からの要望は検討の上、できる限り対応している。また、意見等の場合は必要に応じ話し合いの場を設けている。

担当者会議などで利用者の状態や希望を共有し必要な支援を思慮している。また、家族や関係機関と連携を図り生活の質の向上に取り組んでいる。

③ 事業所やサービスの透明性と質の確保

(利用者の日常生活の様子、施設の運営情報の報告、BCPの策定状況)

日々を自分らしく暮らし喜びを得られるよう、移動支援を活用する等で行動の範囲を制限することなく生活の質を向上に繋げ、利用者それぞれが希望する生活を行っている。

法人内グループホームと共通の認識を持ち連携することで、更なるサービスの質の向上に取り組んでいる。

業務継続計画を策定し、周知及び研修や訓練を実施し、定期的な見直しを行っている。

感染症に関する業務継続計画は、平時からの備え・初動対応・感染拡大防止体制の整備に取り組んでいる。

災害に関する業務継続計画は、平常時の対応・緊急時の対応・他施設および地域との連携に取り組んでいる。

4. 閉会挨拶

ご出席へのお礼、今後の事業運営への協力をお願い、次回の会議や施設訪問の予定の共有を行う。

5. 施設見学

6. その他

(参加者の声)

グループホームでの生活が、利用者の夢の実現に繋がっている。

地域を巻き込んで、障害者福祉のイメージを変えていきたい。

法人内グループホームにて、利用者同士も連携が出来ると良い。

施設を見学して、家庭的な雰囲気を感じた。

区立施設として、より身近な施設を目指していきたい。

以上